

## 凡 例

○本書は東京芸術大学美術学部の前身である東京美術学校が開校するまでの経緯とその後明治三十一年までの歴史を資料を中心に編集したものである。

○本書は全体を五章に分け、章中を節に分けた。

○第一章は設立前史として本校設立以前における美術界および美術行政の概要を記し、第二章は設立より開校までとして明治二十年より同二十二年までの間の経緯を資料に基づいて記述した。以上の部分は各節の末尾に註を付した。第三、第四章はそれぞれ草創期、発展期とし、明治二十二年以降同三十一年までの歴史を編年体で記述した。この部分については「東京美術学校年報」を骨子とし、各節（各年度）を年報本文、註、関連事項（年報に連載されていない重要事項の解説）の順で記述した。第五章は授業内容とし、この時期における各科の実習授業、学科授業について資料を中心に記述した。

○資料掲載の原則はおよそ次のとおりである。

原文の句読点、旧漢字、旧漢字と新漢字の併用、こと・と・と・と・と・と・となどはそのままとした。ただし、俗字や略字、変体仮名は通常の字体に直した。

新聞記事等、原文が総ルビの場合は必要と思われるものを除いてルビを省いた。

編者註記は「」内に記し、資料原文の（ ）と区別した。

誤記ないし誤植と思われる箇所には行間右側にママを付した。

「東京美術学校年報」は、第一年報（明治二十二年）については全文（添付文書も含めて）を掲載し、それ以降の分については部分的に省略して巻末表にまとめ、不要の部分は削除して掲載した。

なお、現在では不適切とされる用語の一部に使用しているが、これは、本書が資料を原文どおりに掲載する方針をとっているためであって、このような用語を是認するものではない。

